

30日 月曜

ダニエル

6:15 そのとき、あの者たちは申し合わせて王のもとに来て言った。「王よ。王が制定したどんな禁令も法令も、決して変更されることはない、ということが、メディヤやペルシヤの法律であることをご承知ください。」

6:16 そこで、王が命令を出すと、ダニエルは連れ出され、獅子の穴に投げ込まれた。王はダニエルに話しかけて言った。「あなたがいつも仕えている神が、あなたをお救いになるように。」

6:17 一つの石が運ばれて来て、その穴の口に置かれた。王は王自身の印と貴人たちの印でそれを封印し、ダニエルについての処置が変えられないようにした。

6:18 こうして王は宮殿に帰り、一晩中断食をして、食事を持って来させなかった。また、眠けも催さなかった。

6:19 王は夜明けに日が輝き出すとすぐ、獅子の穴へ急いで行った。

6:20 その穴に近づくと、王は悲痛な声でダニエルに呼びかけ、ダニエルに言った。「生ける神のしもべダニエル。あなたがいつも仕えている神は、あなたを獅子から救うことができたか。」

6:21 すると、ダニエルは王に答えた。「王さま。永遠に生きられますように。」

6:22 私の神は御使いを送り、獅子の口をふさいでくださったので、獅子は私に何の害も加えませんでした。それは私に罪のないことが神の前に認められたからです。王よ。私はあなたにも、何も悪いことをしていません。」

6:23 そこで王は非常に喜び、ダニエルをその穴から出せと命じた。ダニエルは穴から出



Bible Reference
聖書の記述

されたが、彼に何の傷も認められなかった。彼が神に信頼していたからである。

6:24 王が命じたので、ダニエルを訴えた者たちは、その妻子とともに捕えられ、獅子の穴に投げ込まれた。彼らが穴の底に落ちないうちに、獅子は彼らをわがものにして、その骨をことごとくかみ碎いてしまった。

6:25 そのとき、ダリヨス王は、全土に住むすべての諸民、諸国、諸国語の者たちに次のように書き送った。「あなたがたに平安が豊かにあるように。」

6:26 私は命令する。私の支配する国においてはどこででも、ダニエルの神の前に震え、おののけ。この方こそ生ける神。永遠に堅く立つ方。その国は滅びることなく、その主権はいつまでも続く。」

6:27 この方は人を救って解放し、天においても、地においてもしるしと奇蹟を行ない、獅子の力からダニエルを救い出された。」

6:28 このダニエルは、ダリヨスの治世とペルシヤ人クロスの治世に栄えた。

法令が発布された時点で、また祈りを目撃された時点で、さらには穴に投げ込まれた時点で、ダニエルは“神は守ってくれなかった”と不信仰に陥ることもできましたが、彼は最後まで神を疑つことがありませんでした。神は最後まで信じる者を助け、また徹底的な勝利を与えてくださったのです。

ダリヨス王はここで信仰を持ったように見えますが、それはあくまでも政治上の都合です。自分の神としてではなく、「ダニエルの神」です。世の権力者は気まぐれでもありますから、権力者にこびるのではなく、ダニエルのように、あくまでも神の頼る必要があるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、

愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

